

MITSUBISHI

三菱電機 空調管理システム

MEリモコン PAR-F29ME 据付工事説明書

販売店・工事店さま用

この説明書は三菱電機空調管理システム、直立式マルチエアコン室内ユニットに接続しますMEリモコンの据付工事についてのみ記載しております。よくお読みのうえ、正しく据付けてください。なお空調機本体への配線、および空調機本体の据付工事に関しては、空調機本体の据付説明書をご覧ください。

1 安全のために必ず守ること

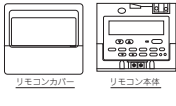
- 据付工事はこの「安全のために必ず守ること」をお読みのうえ、確実に行なって下さい。
 - 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で説明しています。
- ▲警告** 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があります。
- ▲注意** 誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋、家財などの損害に結びつくもの
- お読みになったあとは、室内ユニットに添付された取扱説明書などとともに、お使いになる方に必ず本書をお渡し下さい。
 - お使いになる方は、取扱説明書などとともに、いつでも見られる所に保管し、移設・修理の際は工事される方に、又お使いになる方が変わる場合は、新しくお使いになる方にお渡し下さい。

警告	
据付作業は、販売店または専門業者に依頼する。 お客様自分で据付工事をするに不備があると、感電、火災等の原因になります。	据付工事は、この据付工事説明書に従い確実に行なう。 据付に不備があると、感電、火災等の原因になります。
据付は、十分に耐える所に確実に行う。 強度が不足している場合は、本機の落下により、ケガの原因になります。	電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電機移設に関する技術基準」(内線規定)、及び本説明書に従い施工する。 お客様自己で移設はしない。 据付工事に不備があると感電、火災等の原因になります。お買上げの販売店または専門業者にご相談ください。
配線は所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。 接続が固定が不完全の場合は、発熱、火災等の原因になります。	配線は電圧容量にあった規格品の電線を使用すること。 漏電や発熱、火災の原因になります。
改造、修理は絶対しない。 改造したり、修理に不備があると感電、火災等の原因になります。 修理はお買上げの販売店にご相談ください。	濡れた手でボタンを操作しない。 感電、故障の原因になります。

注意	
可燃性ガスが漏れる恐れのある場所へ据付けない。 万一ガスが漏れて本機の周囲に溜まると発火、爆発の原因になることがあります。	浴室など大量の湯気が発生する所には据付けない。 水のかかる場所、壁が結露するような場所を避けてください。感電、故障の原因になります。
特殊環境には使用しない。 油(機械油を含む)、蒸気、硫化ガスなどの多い場所で使用すると性能を著しく低下させたり、部品が破損したりする場合があります。	酸性、アルカリ性の溶液、特殊なスプレー等薬剤を使用するところは据付けない。 感電、故障の原因になります。
病院、通信事業所などに据付けられる場合は、ノイズに対する備えを充分に行なう。 インバータ機器、自家発電機、高周波医療機器、無線通信機器等の影響による本機の誤動作や故障の原因になり、本機から医療機器等には通信機器へ影響を与え人体の医療行為を妨げたり、映像放送の乱れや雑音などの弊害の原因になります。	配線は電圧容量にあった規格品の電線を使用すること。 漏電や発熱、火災の原因になります。
配線は強力がからないように配線工事を行なう。 断線したり、発熱、火災の原因になります。	濡れた手でボタンを操作しない。 感電、故障の原因になります。
リモコンケーブル引き込み口を、パテで確実にシールする。 露、水、コブクリ、虫等の侵入のため、感電、故障の原因となることがあります。	本機を水洗いしない。 感電、故障の原因になります。
本機を据付ける付近の温度が40℃以上、0℃以下になる場所、または直射日光のあたる場所には据付けない。 変形、故障の原因となることがあります。	ボタンを先のとがった物で押さない。 火災、感電の原因となります。
AC100VやAC200Vは絶対に印加しない。リモコンへの印加電圧は最大で30Vです。破壊、発火、火災の原因となります。	

2 部品確認

- 箱の中には、この説明書他に次の部品が入っていますのでご確認ください。
1. リモコン (カバー、本体) 1
 2. 十字穴付きネジ M4×30 2
 3. 本ネジ M4.1×16 (壁に直接据付ける時使用) 2
 4. 取扱説明書 1



1

- ⑤異冷媒系統の場合グループ分け等の設定をリモコンで行います。(詳細は「6 グループ設定・連動設定」の項目を参照ください。)
- ⑥但し、MELANSシステムコントローラが併用設置される場合、システムコントローラ側で、グループ設定・連動設定を行いますので、リモコンでの設定は不要です。
- ⑦異冷媒系統の場合の設定は、上記内容で終了です。

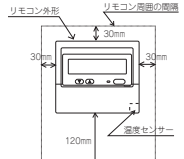
⑧異冷媒系統でグループリングする場合、1台の室外ユニットのみ、制御板上の給電切換コネクタ (CN41) を (CN40) に差し替えてください。

- ・MEリモコンのリモコンケーブルは現地手配となります。下記に示す仕様と相当する電線を用意してください。
- 電線仕様 (シールド線 CUVS、CPEVS、MVVS)
 - 1.25mm²のケーブルは10mを超える所から延長用としてお使いください。
 - φ10mm以内 0.3~0.75mm²の2芯ケーブル (MVVS)
 - φ10mを超える部分 1.25mm²の2芯ケーブル (CUVS、CPEVS)
- リモコンの配線引き込みは最大1.25mm²の電線を過せず。ただし、作業上0.75mm²まで電線を推奨します。

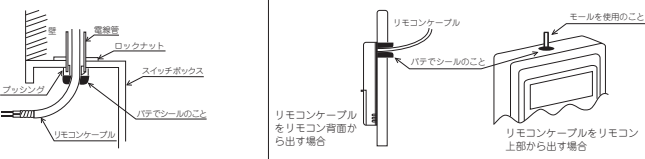
4 据付方法

1. リモコン (スイッチボックス) の据付位置を決めてください。
ただし、下記の事項を必ず守ってください。
 - (1) 温度センサはリモコンと室内ユニットの両方に付いていますが、リモコンの温度センサを使用する場合、リモコンに設定したリモコンにて室温を検知します。主リモコンは部屋の平均的な室温を検知できる場所で、直射日光やエアコンの吹き出し空気が直接当たらないなど熱源の影響を受けにくい所に据付けてください。
(リモコンの主・従設定は「4.1 据付方法」の6を、温度センサの設定についてはフリーブランドシステム室内ユニットの据付説明書をご覧ください)
 - (2) スイッチボックス、壁どちらに据付ける場合でも右図に示すスペースを確保してください。
(ただし、スケジュールタイマー併用時についてはスケジュールタイマーの据付説明書を合わせてご覧ください。)

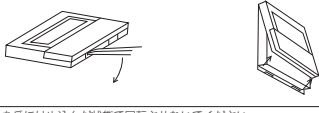
お願い リモコンセンサの付近に配線がないことを確認してください。
配線などある場合、リモコンにて正確な室温を検知できません。
- (3) 下記の部品は現地に調達してください。
 - ・2個用スイッチボックス (JIS C8340)
 - ・薄鋼電線管 (JIS C8305)
 - ・ロックナット、プッシング (JIS C8330)
 - ・モール (JIS C8425)



2. 露、水、コブクリ、虫などの侵入防止のためリモコンケーブル引込口をパテで確実にシールしてください。
 - スイッチボックスを使用する場合
 - ・スイッチボックスに据付けた場合はスイッチボックスと電線管の結合部をパテでシールしてください。
 - 壁に直接据付ける場合
 - ・壁に穴を開けリモコンケーブルを通す場合 (リモコンケーブルをリモコン背面から出す場合) その穴をパテでシールしてください。
 - ・上カバーの切り取った部分よりリモコンケーブルを通す場合は上カバーの切り取った部分を同様シールしてください。
 - ・リモコンケーブルを壁面から引出す場合はモールを使用してください。



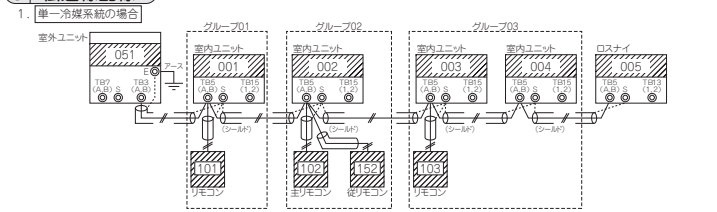
3. リモコン本体のカバーを外します。
 - ・マイナスドライバーを爪にはめ込み矢印の方向に動かします。



注意 ドライバーを爪にはめ込んだ状態で回転させないでください。
爪がこわれてしまうことがあります

3

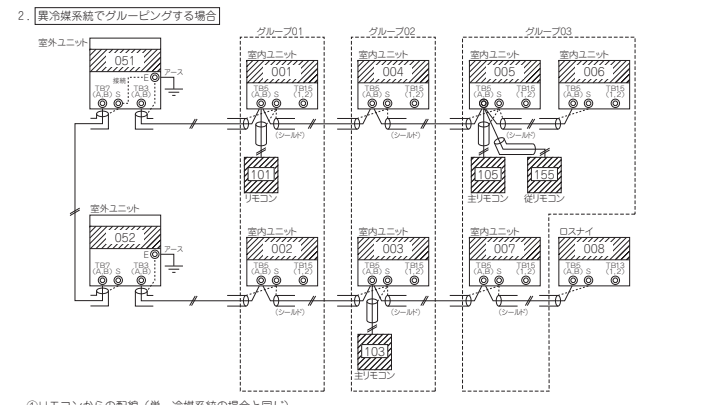
3 伝送線配線



1. 単一冷媒系統の場合
 - ①リモコンからの配線
 - ・室内ユニットのTB5 (室内伝送線用端子台) へ接続します。
 - ・端子台には極性はありません。
 - ・リモコン端子台に示してあります記号のA, Bに接続します。
 - ②グループ連動する場合
 - ・グループ連動する室内ユニットの細線のアドレスにリモコンのアドレスを合わせます。
 - ・細線アドレスはグループ内の最小アドレス番号を示します。
 - ・この細線アドレス番号+100にリモコンアドレスを設定します。
 - ③各室内ユニットまたは室内ユニットで構成するグループにリモコンは、主リモコンと従リモコンの2台が接続できます。
 - ・接続は①と同様です。
 - ・この場合、主リモコンと従リモコンのアドレス設定を必ず行ってください。
 - ・従リモコンの設定は、室内ユニットの細線アドレス+150となります。

注意 リモコン同士での渡り配線は禁止です。リモコンの端子台には配線1本しか接続できません。
同一グループ内にMEリモコンとMAリモコンの併用接続はできません。

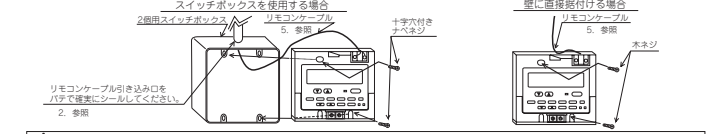
- ④ロスナイを連動させる場合は、リモコンで次の設定をしてください。(この場合の設定方法につきましては「6 グループ設定・連動設定」を参照ください。)



2. 異冷媒系統でグループリングする場合
 - ①リモコンからの配線 (単一冷媒系統の場合と同じ)
 - ②グループ連動する場合
 - ・グループ連動する室内ユニットの細線のアドレスにリモコンのアドレスを合わせます。
 - ・細線アドレスはグループ内の最小アドレス番号を示します。
 - ・この細線アドレス番号+100にリモコンアドレスを設定します。
 - ③各室内ユニットまたは室内ユニットで構成するグループにリモコンは、主リモコンと従リモコンの2台が接続できます。(単一冷媒系統の場合と同じ)
 - ④ロスナイを連動させる場合は、単一冷媒系統と同じ設定をしてください。

2

4. 下ケースをスイッチボックスまたは壁に据付けます。



- 注意** ネジを締めすぎないでください。下ケースの変形、割れの原因になります。
- お願い** 据付け面は平らな所をお選びください。
スイッチボックスまたは壁への据付けは必ず2ヶ所以上を固定してください。
再度、壁へ取付けの際は、モリロンカーナードを使用し、確実に固定してください。

5. リモコンケーブルを本体の端子台に接続します。



- 注意** ・リモコンケーブルのシールド末端はテープなどで確実に絶縁処理を行ってください。端子台、基板と接触し故障の原因になります。
・リモコンの端子台への接続に任意端子は使用しないでください。基板と接触しリモコン故障の原因となります。また、カバーと接触した場合カバー破損の原因になります。
・リモコンケーブルの切端がリモコン内部に入らないようにしてください。感電、故障の原因となることがあります。

6. ロータリースイッチでリモコンのアドレスを設定します。

主リモコン / 従リモコン	アドレス設定範囲	設定方法
主リモコン	101~150	同一グループ内の最も低い室内ユニット細線アドレス+100に設定してください
従リモコン	151~200	同一グループ内の最も高い室内ユニット細線アドレス+150に設定してください

ロータリースイッチの設定

ロータリースイッチの設定	アドレスNo.
01~99	100を付加した数字で「101~199」
00	200

注意 アドレス設定時は、精密ドライバー(φ2.0mm(w))を使用し、印加荷重は19.6N未満で操作してください。
上記の方法で操作するとロータリースイッチがこわれてしまうことがあります。

お知らせ MEリモコンで設定できるアドレスNo.は101~200までです。100の位は「01~99」に設定時「1」に、「00」に設定時「2」に自動的に固定されます。
工場出荷時、ロータリースイッチは01に設定してあります。

7. 壁などに直接リモコンを据付ける場合の配線穴 (露出配線の場合)

- ・カバーの内装内部部 (斜線部) をナイフ、ニッパーなどで切り取ってください。
- ・端子台に接続するケーブルをこの部分から入れます。



8. 本体にカバーをはめ込みます。
 - 上側爪(2ヶ所)を先に掛けて、右図のように本体にはめ込みます。

注意 「パツ」と音がするまで確実にはめ込んでください。確実にはまっていない場合、落下の恐れがあります。

お願い ・操作部には保護シートが貼ってあります。ご使用の際は、保護シートをはがしてください。

5 別売部品の接続

- ・スケジュールタイマーを接続する場合、本体のコネクタに5芯ケーブルを接続してください。(5芯ケーブルはスケジュールタイマーに付属されています。)
- ・ケーブルを通すため、カバー内装内部部を切り取ってください。
- ・配線経路の都合上、スケジュールタイマーはリモコンの左側に据付けます。このためスケジュールタイマーを増設する予定がある場合、リモコンスペースを考慮して設置してください。
- ・なお詳しい据付方法についてはスケジュールタイマーの据付説明書をご覧ください。



4

6 グループ設定、連動設定

異冷媒系間でグループの設定をする場合や、室内外手動アドレス上げを行う場合、この操作を行います。

- (A) グループ設定…リモコンでコントロールする室内ユニットの登録、登録した内容の検索、登録抹消を行います。
- (B) 連動設定…室内ユニットと連動させるロスナイの登録、登録した内容の検索、登録抹消を行います。

操作手順

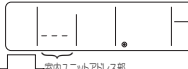
(1) アドレス登録

- リモコンで連動操作する室内ユニットを登録します。
- 電源投入時の「HO」点滅画面あるいは「連動(登録)」ボタンで停止画面にします。液晶画面は下図となり、どちらかの画面と異なる場合は操作ができません。

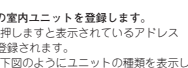


(A) グループ設定の場合

- ②「グループ設定」画面を表示させます。
- ③「フリルター」と④「ルーバ」ボタンを同時に2秒押ししますと下図の表示になります。



- ③アドレスNo.を合わせます。
- ④「設定温度」(設定温度) ボタンを押しますとアドレスNo.が前後しますので登録したい室内ユニットアドレスNo.に合わせます。
- ⑤表示したアドレスNo.の室内ユニットを登録します。
- ⑥「設定」ボタンを押しますと表示されているアドレスNo.の室内ユニットが登録されます。正常に登録されますと下図のようにユニットの種類を表示します。



- 指定した室内ユニットが存在しない場合、エラーの表示が出ますので、室内ユニットの存在を確認し、再度上記操作を行ってください。



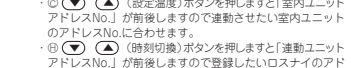
- ③複数の室内ユニットを登録する場合、③と④の操作を繰り返して登録します。
- ⑦「グループ設定」画面を表示させます。
- ⑧「連動設定」画面を表示させます。
- ⑨「フリルター」と⑩「ルーバ」ボタンを同時に2秒押ししますと下図の表示になります。

(B) 連動設定の場合

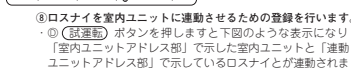
- ⑦「連動設定」画面を表示させます。
- ⑧「連動設定」ボタンを押しますと下図の表示になります。もういちど押ししますと⑨の「グループ設定画面」に戻ります。



- ⑩室内ユニットアドレスNo.とそれと連動するロスナイのアドレスNo.を表示させます。
- ⑪「設定温度」ボタンを押しますと「室内ユニットアドレスNo.」が前後しますので連動させたい室内ユニットのアドレスNo.に合わせます。
- ⑫「設定」(時刻切戻) ボタンを押しますと「連動ユニットアドレスNo.」が前後しますので登録したいロスナイのアドレスNo.に合わせます。



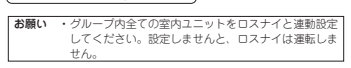
- ⑬ロスナイを室内ユニットに連動させるための登録を行います。
- ⑭「連動」ボタンを押しますと下図のような表示になり「室内ユニットアドレス部」で示した室内ユニットと「連動ユニットアドレス部」で示したロスナイとが連動されます。
- 上記内容は「室内ユニットアドレス部」にロスナイアドレスを、「連動ユニットアドレス部」に室内ユニットのアドレスを表示させても同様に表示されます。



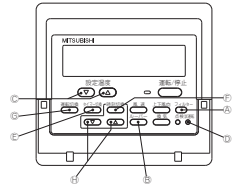
- 登録が正常終了しましたと、左図のように交互に表示します。
- 登録エラーの場合「88」が表示されます。
- 登録が正常終了しましたと、左図のように交互に表示します。
- 登録エラーの場合「88」が表示されます。



- ⑮ロスのナイを室内ユニットに登録する場合、⑬と⑭の操作を繰り返して登録します。
- ⑯「グループ設定」画面を表示させます。
- ⑰「連動設定」画面を表示させます。
- ⑱「フリルター」と⑲「ルーバ」ボタンを同時に2秒押ししますと下図の表示になります。



5



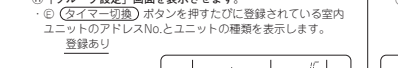
7 リモコンの機能選択

リモコン機能選択モードでは4種類の機能を設定変更できます。必要に応じ、設定変更をしてください。

- (A) 自動モードスキップ設定
- (B) 運転モード表示選択モード
- (C) 設定温度範囲制限モード

操作手順

- 1. リモコンの電源/停止ボタンで空調機を停止の状態にします。リモコンの表示は、停止画面表示になります。
- 2. 「設定」(時刻切戻) ボタンを同時に2秒押ししますと、リモコン機能選択モードに移行し、「自動モードスキップ設定」画面が表示されます。その他の4種類のモードには設定温度(設定温度) ボタン、あるいは「設定」(時刻切戻) ボタンを押して操作することができますので、機能を変更したいモードを表示させてください。



- ①「ON」を選択した場合、連動モード切戻操作により自動モードをスキップすることができます。
- ②「OFF」を選択した場合、連動モード切戻操作により自動モードを選択することができます。自動連動ができません。



- ③「ON」を選択した場合は、自動モード運転時、自動冷房、自動暖房のどちらかが表示されます。
- ④「OFF」を選択した場合は、自動モード運転時、自動冷房のみが表示されます。



- ⑤冷房/ドライモード時の温度選択
- ⑥暖房モード時の温度選択
- ⑦自動モード時の温度選択



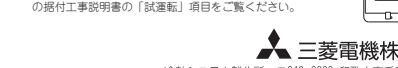
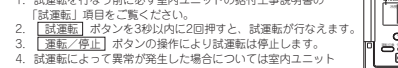
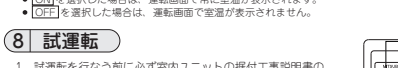
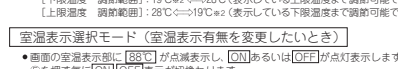
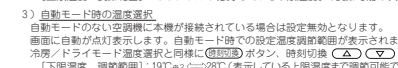
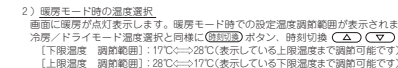
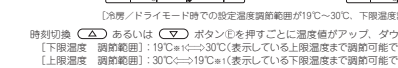
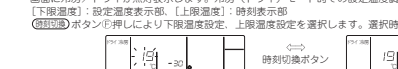
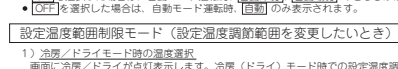
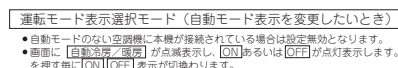
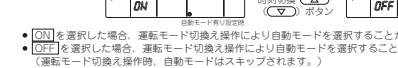
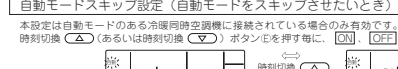
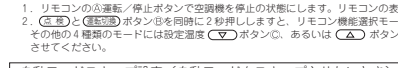
- ⑧「ON」を選択した場合は、運転画面で常に室温が表示されます。
- ⑨「OFF」を選択した場合は、運転画面で室温が表示されません。



8 試運転

試運転はタイマーにより2時間停止します。試験中は室温表示を停止させます。

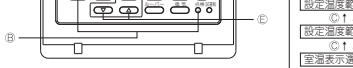
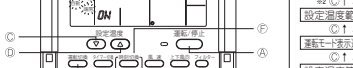
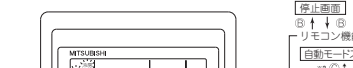
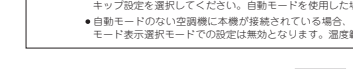
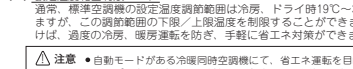
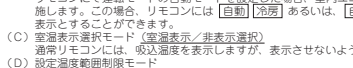
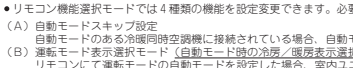
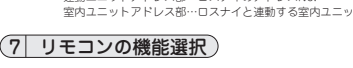
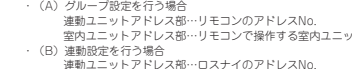
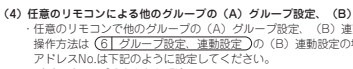
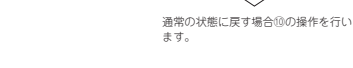
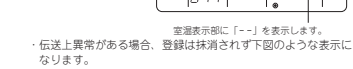
- 1. 試運転を行う前に必ず室内ユニットの掘付工事説明書の「試運転」項目をご覧ください。
- 2. 「試運転」ボタンを3秒以内に2回押しすると、試運転が開始します。
- 3. 「運転/停止」ボタンの操作により試運転は停止します。
- 4. 試運転によって異常が発生した場合については室内ユニットの掘付工事説明書の「試運転」項目をご覧ください。



7

4 任意のリモコンによる他のグループの(A)グループ設定、(B)連動設定

- 任意のリモコンで他のグループの(A)グループ設定、(B)連動設定を行うことができます。
- 操作方法は「6」グループ設定、連動設定の(B)連動設定の場合をご覧ください。
- アドレスNo.は下記のように設定してください。
- (A) グループ設定を行う場合
- 連動ユニットアドレス部…リモコンのアドレスNo.
- 室内ユニットアドレス部…リモコンで操作する室内ユニットのアドレスNo.
- (B) 連動設定を行う場合
- 連動ユニットアドレス部…ロスのナイのアドレスNo.
- 室内ユニットアドレス部…ロスのナイと連動する室内ユニットのアドレスNo.



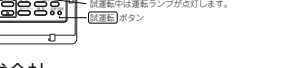
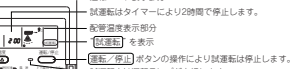
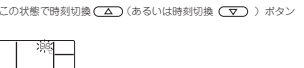
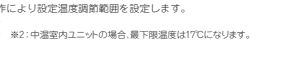
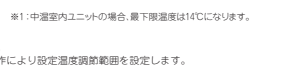
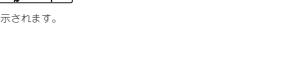
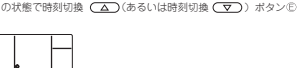
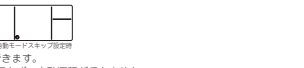
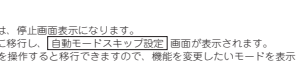
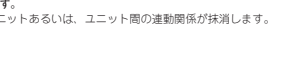
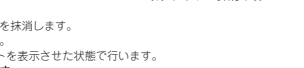
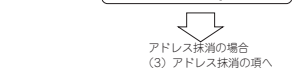
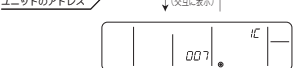
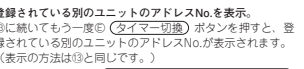
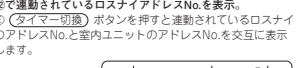
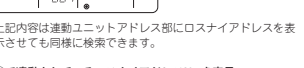
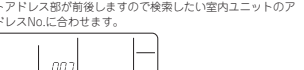
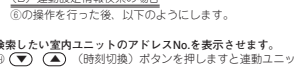
7

6

グループ設定、あるいは連動設定で各種操作が終了した場合、下記操作により、通常の状態に戻します。

- ①「フリルター」と②「ルーバ」ボタンを同時に2秒押ししますと①の状態に戻ります。
- ③上記⑦、⑧を繰り返し、グループ内全ての室内ユニットとロスのナイを連動登録します。
- ④通常の状態に戻す場合
- ⑤アドレス検索の場合
- ⑥(2) アドレス検索の項へ

- (B) 連動設定情報検索の場合
- ⑦の操作を行った後、以下のようになります。
- ⑧検索したい室内ユニットのアドレスNo.を表示させます。
- ⑨「フリルター」(時刻切戻) ボタンを押しますと連動ユニットアドレス部が前後しますので検索したい室内ユニットのアドレスNo.に合わせてみます。
- ⑩「設定」(時刻切戻) ボタンを押すと、登録されている別のユニットのアドレスNo.が表示されます。
- ⑪上記内容は連動ユニットアドレス部にロスのナイアドレスを表示させても同様に表示されます。
- ⑫⑬で連動されているロスのナイアドレスNo.を表示。
- ⑭「フリルター」(時刻切戻) ボタンを押すと、登録されている別のユニットのアドレスNo.が表示されます。(表示の方法は⑩と同じです。)
- ⑮登録されている別のユニットのアドレス
- ⑯「フリルター」(時刻切戻) ボタンを押すと、登録されている別のユニットのアドレスNo.が表示されます。
- ⑰「フリルター」(時刻切戻) ボタンを押すと、登録されている別のユニットのアドレスNo.が表示されます。
- ⑱「フリルター」(時刻切戻) ボタンを押すと、登録されている別のユニットのアドレスNo.が表示されます。
- ⑲「フリルター」(時刻切戻) ボタンを押すと、登録されている別のユニットのアドレスNo.が表示されます。
- ⑳「フリルター」(時刻切戻) ボタンを押すと、登録されている別のユニットのアドレスNo.が表示されます。



8